

職員教育の状況

当院における職員教育の状況について、世界水準の臨床及び研究を推進している日本屈指の私立大学病院として、現場での実行力強化を目的とした教育機会の設定が必要と考え、2024年度はそれらに関連する研修を下記の通り実施した。

1. 新任役職者向け階層別研修

新任役職者を対象とし、マネジメントや役割理解を中心とした研修を時代の変化に合わせ内容を見直して実施した。活気ある組織運営のため、継続して実施していく。

2. 若手職員向け教育

各年次で身に付けてほしい「コミュニケーションスキル」「論理的思考」「主体性強化」や「問題解決思考」に関連する研修を実施し、若手職員の能力開発を全学的に行った。あわせて、エクセル研修も実務へ応用できるレベルで全学展開で実施し、業務効率化に寄与するスキル獲得を目指した。

3. 一次救命、二次救命教育

院内の全ての教職員が一次救命処置を行えるよう、一次救命教育を徹底した。また国際基準により、鎮静処置・急変対応ができる体制が求められているため、鎮静・麻酔実施エリアの教職員が常時対応できるよう二次救命教育を実施した。

今後も医療を取り巻く環境が大きく変化する中、教職員がやりがいを持ち、安全・安心に業務に取り組むことができるように、より環境やニーズに合わせた多様なテーマでの教育機会の提供を進めていく。

データ提供 人事部